

2017年11月15日(水) ハコラク12月号 掲載

医療の現場から『インフルエンザの感染予防対策について』

加藤 由美子 感染管理認定看護師

医療の現場から

インフルエンザの 感染予防対策について

函館中央病院

感染管理認定看護師

加藤 由美子さん



今年もインフルエンザの流行シーズンが到来します。インフルエンザは、通常の風邪とは異なり重症化することがあるため予防が大切です。インフルエンザ予防にはワクチン接種が効果的です。ワクチンには①インフルエンザにかかりにくくする、②感染しても症状が軽くすむという効果があります。ワクチンは接種してから約2週間後に効果が現れ、約5カ月間効果が持続するといわれています。そのため例年の流行状況から考えると、12月中旬までにワクチン接種を終えることが望ましいとされています。

次に、マスクを着用することでもインフルエンザを予防することができます。今年もインフルエンザの流行シーズンは①鼻や口からのウイルスの侵入を防ぐ、②鼻や口の湿度を高めることでウイルスの増殖を抑えるという効果があります。またマスクは、インフルエンザ感染者が着用することで、感染者の唾液や鼻水など分泌物の飛散を防ぎ、感染拡大を防止することもできます。

そして、最も大切な予防対策は「手洗い」です。インフルエンザ感染者がくしゃみや咳などをしたときに口元を手でおさえ、その手でドアノブやスイッチ、手すりなどさまざまな場所に触れるとウイルスが付着します。そのウイルスが付着している場所に非感染者が触れ自分の目や鼻、口を触ったり、食事をしたりすると、ウイルスが体内に侵入し感染します。不特定多数の人が集まる場所では、手にウイルスが付着することを未然に防ぐことは困難なため手洗いがとても大切です。手を洗うタイミングは、帰宅時や食事前だけではなく、手すりや共有のパソコン、トイレのドアノブなど、不特定多数の人が触るようなものに触れた後にも必要です。可能な限り手洗いを行うことが、インフルエンザの予防には効果的です。



函館中央病院

函館市本町33-2 ☎0138-52-1231(代) <http://www.chubyo.com/>

■診療科目/内科、消化器内科、腫瘍内科、循環器内科、小児科、外科、整形外科、形成外科、
心臓血管外科、皮膚科、産婦人科、耳鼻咽喉科、歯科口腔外科など全24科目

■受付時間/8:30~11:30、13:30~16:00※土曜は午前のみ。診療科や時間帯によっては要予約。

■休日/日曜・祝日・年末年始・開院記念日(6月第1水曜)